

鳥取北ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2025 ▶ 2026

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

● 会長……田村 博 信 ● 副会長……………森下 泰 年

● 幹 事……笹野 真 紀 ● 会 計……………入江 容子

● SAA……谷口 昭 二 ● 広報・プログラム委員長…堀 いづみ

■ 創 立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル HP: <https://kitarc.jp/>

E-mail kitarc@eagle.ocn.ne.jp Tel.24-3536 Fax.29-6741



本日の例会

2025年8月19日(火) 四つのテスト 第3073回

- ◆ロータリーソング ◆卓話
- 我等の生業 国際ロータリー第2690地区
- ◆献立 カレーライス 第1グループガバナー補佐
- ◆委員会事項 小谷文夫氏
- 入会記念日御祝 ※11:15~クラブ協議会4階「砂丘の間」

8/12 (火) 休会

次回の例会

2025年8月26日(火) 第3074回

- ◆ロータリーソング ◆納涼移動夜間例会
- なし 18:00 ~
- ◆献立 ホテルニューオータニ鳥取13階
- パーティー料理

先 週 の 例 会

2025年8月5日(火)

会長挨拶

本日の例会には、ゲストに(株)ASAGIの西尾篤人代表取締役、ビジターに鳥取西ロータリークラブの大田原さん、そして米山奨学生郜さんをお迎えしています。西尾社長様には、この後卓話をお願いしています。

先日若桜町の観光資源について調べるためPCを開こうとしたところ、突然数十年前に読んだ推理小説のことが頭に浮かびました。題名も作者も覚えていませんが、若桜町で、神社とお寺が一体となった施設が舞台だったことだけが、鮮明によみがえってきました。フィクションの中のことと思いつつ、若桜神社のページを開いてみると、「神仏習合」という言葉を見つけたわけですが、若桜神社は古くから神仏習合していたが、明治初頭の神仏分離令により仏教色が一掃され、明治6年現名称である「若桜神社」と改称されたとあり

ました。現在では神仏習合の具体例として、奈良県の春日大社と興福寺があげられ、この二つの施設は同じ敷地内にあり、神仏習合の象徴と言われているそうです。このことは平安時代に起源があり、日本の宗教文化において重要な現象と言われており、神道と仏教が融合することで両者の信仰が強化され、豊かな宗教文化が形成されたそうです。涼しくなれば、こういったことを念頭に置き、まずは若桜神社、そして春日大社にお参りしようと思っています。

今週は暦の上で立秋を迎えますが、残暑どころか猛暑・酷暑が続いてます。皆さんも熱中症に注意し、お盆を迎えてください。

会長挨拶の後、米山奨学生 郜 帥龍さんに奨学金が渡されました。

幹事報告

1 到着文書

- 1) 坂口ガバナー事務所より
夏季休暇のご案内 8/12 (火) ~ 8/15 (金)
- 2) (公) ロータリー日本財団より
確定申告用寄附領収証についてのお願い
※該当者BOXへ、再発行無し
- 3) 鳥取大学より風紋No.85

2 例会変更・メイクアップ情報

- 倉吉RC
9/2 (火)、12/16 (火) 夜間例会へ
ビジター受付 定刻事務局
米子中央RC
8/28 (木) 夜間例会へ
ビジター受付 定刻例会場

3 その他連絡事項

- ・配布 ロータリーの友 8月号、2024年度月信 13号
- ・回覧 岡山RC創立90周年記念誌
- ・地区大会の締切り本日まで、変更8/21（木）
- ・8/12（火）休会
- ・8/19（火）小谷ガバナー補佐クラブ協議会 理事は11：15～4階「砂丘の間」
- ・8/12（火）～8/15（金）事務局夏季休暇

委員会報告

◎出席率報告

8月5日 会員42名中 出席30名 出席率71.43%

◎誕生日御祝

牧浦繫雄さん 磯部紗希さん

ビジター

鳥取西RC 大田原俊輔さん

メイクアップ

鳥取西RC 田中英剛さん

スマイル報告

（本日10,000円 累計105,000円 前回 95,000円）

大田原俊輔さん（鳥取西RC）鳥取西ロータリーから久方ぶりにメイキャップ参加させて頂きました。本日はお世話になります。

田村博信さん 電子体温計は、周囲の気温が高すぎると計測しないようです。ちなみに気温は38度でした。

森下泰年さん 先日「経済同友会」の例会で東部森林組合の嶋沢組合長に講演をして頂きました。「森林資源の利用による巡回経済の実現を」というテーマでしたが、参加者の森林資源に対する関心も高く、予想以上に活発な質問がありました。わが鳥取北RCとの里山整備事業も紹介していただき、よいPRとなりました。

笹野真紀さん ①そろそろ雨でしょうか？期待したいです。②グルメの会での2次会ご利用ありがとうございました。

堀いづみさん 西尾さん、本日の卓話楽しみにしています。よろしく願いいたします。

千金周一さん 遅ればせながら、谷口さん役員就任おめでとうございます。この人に地位と権利を持たせるのは危険ですが活躍を楽しみにしています。

※2大御祝（本日2,000円 累計14,000円 前回12,000円）

牧浦繫雄さん 誕生日

卓話

「～生成AIが切り開く新たな価値創造で地域とビジネスの未来を創る～」

株式会社ASAGI 代表取締役 西尾篤人氏

「生成AI が切り拓く新たな価値創造で地域とビジネスの未来を創る」では、AI技術の進展が私たちの生活や仕事にどのように関わり、どんな可能性をもたらすかをわかりやすく解説されました。



冒頭では「生成AIとは何か？」について触れ、ChatGPTなどの代表的なサービスを紹介。生成AIとは、人間の代わりに文章や画像などのコンテンツを自動生成するAIであり、例として手紙文、イベント案内、イラスト、会議の要約などを簡単に作成できることを説明いただきました。これらはスマートフォンやパソコンから簡単に操作でき、そろばんから電卓、パソコンへと技術が進化してきたのと同様に、今やAIは「新しい文房具」として誰もが使えるツールです。

「AIは怖いものではなく、人の仕事を助ける道具である」というメッセージを強調し、最終的な判断や操作の主導権は常に人間にあるとして、また2024年末には日本国内の生成AIユーザーが1,924万人に達し、今後も企業への導入が急速に進むとされており、「使うか使わないか」で生産性に大きな差が出る時代が来ていることをデータと共に説明されました。

次に、業種ごとの生成AI 活用例を紹介。製造業・小売業・飲食業・医療介護・建設・教育・観光など幅広い分野で、文書作成、予測、要約、翻訳などに使われている具体例が示されました。デモンストレーションでは「鳥取北ロータリークラブの会員増強をするには」といった簡単な実例が紹介され、実際にChatGPTで自動生成された文章が紹介されました。

最後に、ChatGPTを基礎から学べる12時間の動画研修（38万円/人）を案内。中小企業の場合は厚生労働省の「人材開発支援助成金」により最大75%助成され、実質8万円で受講可能であること、また賃上げ促進税制の教育訓練費として節税にもつながることを説明されました。

（担当 堀 いづみ）